福島放技ニュース

巻頭言

福島県放射線技師会と日本放射線技師会

副会長　鈴木憲二

うっとうしい梅雨が明けたと思ったら、焼け付くような真夏日が到来し、夏を待ちかねている子供たちの顔が目に浮かんできます。

前回のニュースで日本放射線技師会の役員が改選されたことはすでに報告されたが、福島県放射線技師会と日本放射線技師会との関係について述べてみたい。

日本放射線技師会の役員は定款によると会長１名、副会長２名、常務理事１５名以内、理事若干名（１５名以内)、監事２名となっており、理事のうち地域担当理事は各地域より選出される７名を会長が委嘱し、その他の理事は全国より選出される理事で９名以内である。常務理事は定款によると理事の互選によって定めるとしているが、会長が選出した理事となっており、その数も平成１４年度９名が平成１８年度には１３名に増えている。常務理事の仕事は①サービス部門担当主務者②会計担当主務者③情報部門担当主務者④学術部門担当主務者の４つに分けられる。平成１５年に新しくできたのは継続教育基本規程でこの規程は放射線技師格について書かれてある。技師格は①アドバンスド放射線技師格②シニア放射線技師格③マスター放射線技師格の３つに分かれており、アドバンスド放射線技師格があたかも最低のラインであるかのようであるが、このアドバンスド技師格でさえ日本放射線技師会員の２割程度しか取得しておらず、また取得するのには多くの時間と費用がかかり会員に負担を強いていることとなる。昨年実施された日本放射線技師会主催のアドバンスド放射線技師格取得のためのセミナー（AD セミナー）では１科目 15,000 円の受講料、４科目を受講すると 60,000 円の受講料となった。福島県でも昨年と今年の７月に AD セミナーが開催されたが受講料は１科目 3,000 円と安価で受講でき、他の都道府県で開催されたセミナーでは最低でも 5,000 円の受講料で、如何に福島県放射線技師会が会員に負担を少なくして開催しているのがわかる。またこの技師格を維持していくのに５年間に 200 カウント以上取得し、その中に国民に直結した事業への社会活動が 20 カウント以上なければならない。（詳しいカウント取得については福島県教育委員にお尋ね下さい）

この技師格維持のためのカウント取得には都道府県技師会主催のカウントは日本放射線技師会主催の 1/3 となっており、福島県放射線技師学術大会に８時間参加したとしても 2.7 カウント、研究発表しても 15 カウントで如何にカウントを維持していくのが困難であることがわかる。また継続教育基本規程のなかに認定資格制度があり①臨床実習指導教員②放射線機器管理士③放射線管理士④医用画像情報管理士がある。

これらの資格と技師格は日本放射線技師会会員でないと取得することが出来ないが、各個人の知識の向上を得ることは良いことであり、今後も福島県放射線技師会として関与していきたいと思っている。今まで福島県放射線技師会に新入会される時は日本放射線技師会も入会するように薦めていたが、福島県放射線技師会と考え方に違いが見られ、福島県放射線技師会への入会のみも先日の理事会で賛成が過半数を超え認められる事となった。しかしながら現日本放射線技師会に福島県放射線技師会会長が地域理事として選出され、これからの日本放射線技師会が改革されることは間違いなく、これからの運営に期待したい。

平成１８年度第１回理事会議事録（抄）

日　時　：平成18年7月21日（金）14時30分
場 所　：医大附属病院放射線部カンファランス室議題
１）　平成18年度会務報告
①片倉会長より、6 月3 日 日放技新役員による初理事会に出席の件。6 月23 日北関東地域放射線技師会役員会出席の件。
②委員会報告
精度管理委員会より（吉田委員長）「造影検査に係わる患者さんへのインフォームドコンセント、同意書・承諾書の記載などの実施状況」を調査するために各施設にアンケート依頼しますので宜しくお願いしたい。また、11月の学術大会で発表したいと報告あり。
調査委員会より（富塚委員長）「休日、夜間対における時間外の対応」のアンケート調査について実施している。締め切り日を7 月30 日に変更。発送は１７４施設、現在８４施設より返答がある。回収終了次第、集計し検討を加え発表したいと報告あり。
学術委員会より（新里委員長）学術大会の演題を募集しています。ランチョンセミナーは第一製薬とタイアップして行なう。（新人向けの講演を予定している）「超実践マニュアルＣＴ」サクッとわかるＣＴ検査の本を著書された、吉川 秀司先生の予定であると。
片倉会長より：「今回も本を配布したらどうか」　伊藤事務局長：「最低2割引きにはなるはずです。」第一製薬と今後交渉する事にする。
③ 会津支部長 秦 理事より、佐藤幸志氏の叙勲祝賀会に対してのお礼。
２）　各種講習会開催
斎藤副会長より
①アドバンス（救急、今後の方針）
救命講習（各消防署）が終了し全て終了した。10 月１日試験が行なわれる。今後のＡＤ講習に関してアンケートを行なった結果、約40 名の希望があった。
40 名ではむずかしい（経費の面で）が、やりたい人がいる以上やりたい。（やってあげたい）福島県は、現状のや りかたでやって行く。講習１科目4,000 円テキスト代別。看護学：放送大学を使えば可能。２単位必要で約６ヶ月 かかる。医療学：会員で講習を行なえる。ビデオも使用 可能。メデア講習は、各人では行なえないが各支部単位 なら可能か？救急医療学：講習と消防署の実習。
日放技ＡＤ資格取得者約２０%（会長）
森口理事より質問：ＡＤ資格取得しないと放射線管理士、機器管理士の資格はどうなるか？
片倉会長：平成20 年までに取得しないと資格停止となる。更新も出来ないとの返答あり。
②乳房撮影技術講習
片倉会長：毎年医師会とタイアップして行なっているが、今年医師会ではやらない予定です。が、技師会としては、今年も実行する予定（１２月）医師会の名前だけ借りるかもしれない。また平井さんに、お世話をお願いする予定です。来年以降東北部会では、行なわないかもしれないが、福島県は行ないたい。
３）　平成１８年度（社）日本放射線技師会総会報告
片倉会長：メールで理事の皆さんにお送りした。会長選挙に関しては、残念ながら熊谷さんが当選した。
４）　平成１８年度北関東地域会長会議報告
片倉会長：資料を見て頂きたい。（議事録内容確認）　議事１、６）熊谷会長指名理事について、２９歳でＣＴに触ったこともない技師を指名している。しかも常務理事である。今後技師会は、熊谷和正ワンマン体制でどうなってしまうのか？
議事２、２）平成19 年（来年）の北関東地域学術大会は、11 月10 日（土）～11 日（日）埼玉県東松山市で開催予定。福島県の学術大会との関係もあり、新里学術委員長に日程の調整を指示。
５）　その他
① 国民保護法指定団体について
伊藤事務局長：指定公共機関の国民保護に関する業務計画について１８年１２月頃まで作成し県に報告、点検助言を受ける。
片倉会長：原子力発電所に対する大規模テロの武力攻撃 に対する災害への対処。技師会の協力。国民被ばくを最 小にする事と線量測定。放射線に関することは我々技師 会が、協力する。ポータブルによる移動撮影も行なえる。
② 緊急被ばく医療講習について
管理士のポイントにもなる。７月２２日（土）
③ 中西しげあき後援会について
片倉会長：選挙区責任者１名選出しなければならない。公務員はＮＯです。ご協力ください。（あまり積極的ではなく未決。）
④ 公益法人制度改正ー法人形態の意向調査（県より）　片倉会長、伊藤事務局長：既存の社団法人や財団法人は、施行後５年の間に内閣総理大臣又は知事の認定等を受けて一般社団法人又は公益社団法人いずれかに移行できるとされている。事業費の２分の一以上公益性必要。現在の役員構成の変更、これからも公益法人で行くのか、株式会社方式で行くのか、解釈について議論されたが、まだ調査段階なので結論はでない。
⑤技術学会東北部会予定表
鈴木副会長：東北部会予定表出来ました。ランチョンセミナー座長を９日、富塚さん、１０日、吉田さんにお願いしたいと。実行委員名簿も出来た。会場設営等については後日実行委員会を開き決めたい。当日朝８時から準備開始なので、実行委員は、杉妻会館に前泊依頼。
片倉会長：懇親会は、テルサのレストランを使用しビールパーティー形式にしたい。
⑥ 日放技学術大会旅行日程の件
伊藤事務局長：２０名位いないと実行出来ない。是非参加をお願いしたい。経費約１１万円。参加予約券来ています。演題予定現在２名。
⑦ 予算執行状況

村上理事：項目変更について（総会時に指摘された）預かり金収入・広告費を追加したいとの提案があり、了承された。
会員数の確認・１７年度会費未納者１１名確認・新入会会員・退会者確認。
片倉会長：佐藤幸志さんから祝賀会席上で２０万円の寄附を頂いたとの報告ありニュースにも載せる事にする。
⑧　森口理事より質問：新人技師、県のみの会員として入会可能か？
片倉会長：１年目の技師と６０才以上定年退職者については可能です。
伊藤事務局長：他県では「自県と日放技」の入会を義 務付けている所も多いが、福島県放射線技師会定款では、日放技の入会を義務付けていないので、県のみも可能。 各理事より：現在県のみ４０名。これ以上増えても良い か？日放技をやめたいと言う人多数出ないか、県として の意見は？
秦 理事より：日放技をやめたい人は認めるべき。県のみを認めても良い。
片倉会長：資格を目指すのであれば日放技入会しなければならない。現在の日放技に魅力があるか。資格が、就職や、昇進、給料に影響するか。影響があれば或は免許の更新制度を日放技が、厚生労働省を動かして制度化すれば、入らざるを得なくなる。
本年については、県のみも認める。来年の総会で報告する。ニュースにも会長のコメントを載せる。以上

会員異動状況

異動

北畠　直也	かしま病院 →なこそ病院
柑本　明美	自宅 →谷病院

新入会

会田　玲史	わたり病院
斎藤　慎一	佐原病院
平山　麗夢	呉羽総合病院
清水　香織	いわき泌尿器科病院
増子　英教	双葉厚生病院
佐藤　尚司	鹿島厚生病院
佐藤　慎也	西病院
小林ちひろ	枡記念病院
渡邉　純子	福島赤十字病院
佐々木裕子	会津中央病院
土田　奈緒	会津中央病院
高橋　健一	白河厚生総合病院
早川ツトム	竹田綜合病院
大葉　　降	医大附属病院

佐藤幸志氏 瑞宝双光章受賞祝賀会開催

平成１８年７月８日（土）、会津ワシントンホテルにおきまして、佐藤幸志氏さんの瑞宝双光章受賞祝賀会が華々しくとりおこなわれました。
祝賀会では、県内のみならず遠く県外からも大勢の方がご出席くださいました。また片倉会長のご挨拶をはじめ大勢の方から御祝辞を、都合がつかずに出席できなかった方からもたくさんの電報をいただきました。佐藤さんは非常に緊張した面持ちで挨拶を述べていたようでした。
佐藤さんはこれで技師職を引退することになりましたが、いままで佐藤さんが頑張ってきたことはみんなで引き継いでいくことでしょう。佐藤さん、いままでお疲れ様でした。（森谷）

佐藤幸志氏、県技師会へ寄付

瑞宝双光章受賞祝賀会の席上で佐藤幸志氏より、片倉会長に対し福島県放射線技師会のために使って欲しいと、金２０万円の寄付の申し出がありました。
片倉会長も県技師会の発展のため、会員のために役立てたいと感謝していた。
佐藤幸志様、ありがとうございました。

第７回福島県乳房撮影研究会開催される

第７回福島県乳房撮影研究会が平成18年６月10日（土）にビックパレットふくしまにて開催されました。特別講演は「乳がんの画像診断―症例を中心に―」、講師に星総合病院副院長の野水整先生をお迎えしてご講演頂きました。研究会は各メーカーよりデジタルマンモグラフィの最新トピックス、デジタルマンモグラフィでの精度管理を発表して頂きました。最後は、いがらし内科外科クリニック院長の二瓶光博先生をお迎えして、「乳がん検診の現状とこれからのこと」と題してシンポジウムが行われました。各地域の代表者（放射線技師）から、検診マンモグラフィの受診率、読影会、行政との関わりなど熱い論議が繰り広げられました。6 時間という長丁場の研究会でしたが100 名超える参加者となり、マンモグラフ

ィへの関心の高さが伺えるものとなりました。

支部だより

《浜通支部》

浜通り支部いわき地区講演会開催される

平成 18 年 7 月 28 日（金）18：30 からいわき市のホテルサンルートいわきにおいて、福島県放射線技師会浜通り支部いわき地区勉強会が開催されました。特別公演内容は茨城県立中央病院放射線科山田公治先生による「ＭＤＣＴの至的造影法について」と題して公演されました。現在のシングルヘリカル～64 列までのＣＴの性能についての判りやすい違いや臨床応用など有用なお話を戴きました。豊富な臨床写真を使いながらの大変判りやすい内容でした。これからのいわき地区勉強会は若い技師を中心に立ち上げて行こうという取り組みを現在進めており若手技師の参加の多い活気ある勉強会でした。また、終了後は先生を交えて軽い立食のビアパーティーが開かれました。いつになく活気のある楽しい会合でした。（大森）

相双画像診断勉強会の案内

技師として仕事をする中、スキルアップしたいと思いながら福島や郡山で行われる研究会などに地域的な・時間的な理由や人数に限定され参加できない。 この度、「相双画像診断勉強会」を立ち上げ世話人会で名年２回の予定で開催し、第１回を９月６日（水）午後６時４５分から原町市内で行うこととし、「胸部領域の画像診断（仮）」と題し、大原綜合病院の森谷医師にご講演いただく運びとなりました。当面Basic　な内容を中心に勉強していきたいと考えております。地区の皆様の多数の参加をお願いするとともに、他の地域の方も是非ご参加いただけますようお願いいたします。（嶋田）

《県北支部》

福島県医用ディジタル通信技術研究会の開催

第９回福島県医用ディジタル通信研究会の講演会が８月１９日（土）に杉妻会館で開催されます。また研修会終了後には、県北支部暑気払いを企画しております。多数の参加をお待ちしております。

日時：８月１９日（土）午後３時３０分より
場所：杉妻会館　３Ｆ　「百合の間」
プログラム
１，「２００６年度診療報酬ー画像診断に関連する主な改定ポイント」
　日本シェーリング（株）診断薬事業部　長嶺　雅明
２，「携帯画像配信サービス及び地理情報システムの活用事例」
　（株）パスコ　ビジネス営業推進部　橘　克憲
　（株）パスコ　モバイル事業部　　森　美菜子
県北支部暑気払い　　午後５時３０分より　杉妻会館
　会費　２，０００円　　（池田）

《県南支部》

県南支部サマーセミナー開催

平成１８年８月５日に郡山市ビックアイ市民プラザで午後３時より、技師会県南支部サマーセミナーが開催された。教育講演は田村市立都路診療所の管野修一氏に「リスクマネジメントの実務～問題解決の技法」の講演をして頂いた。問題、解決の言葉の意味、解決の方法としてポリアの方法、ブレインストーミング法、KJ 法などを学んだ。技術講演としてシーメンス旭メディテックの西林寿氏に「Dual Source CT の有用性について」の話をして貰い、管球を２個９０°ずらして配置し83msec の時間分解能、64 列 CT より50%線量の低減（心臓）、Dual Energy scan が出来るなどを教えて頂いた。勉強会の後、場所をビューホテルアネックスに移し懇親会を行い、うねめ祭りの中美味しい料理で盛り上がりました。

放射線技師学術大会の演題募集について

県学術大会実行委員長 新里 昌一

放射線技師学術大会を、11 月１２日（日曜日）に県立福島医科大学大講堂において開催しますので演題を募集します。

会員の皆様には、職場で行っている撮影法・検査あるいは治療法の紹介や導入した装置の使用経験等、何でも結構ですので学術大会で発表して欲しいと思います。多忙な診療の傍ら、日頃の研究成果をまとめられた貴重な成果を演題発表と言う形で報告してください。今回は演者に関しても「ノーネクタイ」で結構ですのでよろしくお願いします。

募集要項は県ホームページに載せました、申込締切 9 月２６日（月曜）です。

なお、大会プログラムが皆様のお手元に届くのは 10 月末を予定しています。

編集後記

未だ残暑は厳しいですが、朝晩はだいぶ涼しく過ごしやすくなってきたようで、すぐそばに秋の気配を感じ取れます。体調を崩さないように、残暑を乗り切っていきましょう。（会津支部　森谷）